

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成 29 年度病虫害発生予察速報第 5 号について (果樹カメムシ類の果樹園への飛来)

このことについて、病虫害発生予察速報第 5 号を発表しましたので送付します。

本年の果樹カメムシ類(特にチャバネアオカメムシ)は、ヒノキ樹上での発生量が前年よりやや多く、また、8月中旬から8月下旬までのフェロモントラップおよび予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺虫数も、前年、前々年より多く推移しました。

山林から果樹園への飛来が本格化したのは9月上旬であり、9月5半旬の調査結果ではカキの被害果率は前年並であるものの、被害発生ほ場率は2倍を超え、一部地域では予察灯による誘殺虫数も発生量の多かった平成25年並となっています。

果樹カメムシ類は、山林から離脱後越冬するまで果樹園へ飛来します。今後も常に園内の発生に注意し、防除を徹底するようご指導願います。

速報第 5 号

1 対象作物：果樹全般 (カキ、カンキツ等)

2 病虫害名：果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ)

3 発生状況

(1) 9月1半旬～5半旬のフェロモントラップおよび予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺虫数は前年より多い(図1、2)。*平成25年は、果樹カメムシ類の多発年

ア) フェロモントラップによる誘殺虫数

筑紫野市吉木 344頭 (前年 125頭、前々年 12頭)

*参考：平成25年 404頭

うきは市吉井町 170頭 (前年 32頭、前々年 141頭)

イ) 予察灯による誘殺虫数

筑紫野市吉木 3,789頭 (前年 3,174頭、前々年104頭)

*参考：平成25年 30,430頭

朝倉市杷木 138頭 (前年 84頭、前々年 66頭)

*参考：平成25年 681頭

飯塚市入水 4,839頭 (前年 1,006頭、前々年 7頭)

*参考：平成25年 5,510頭

(2) 9月5半旬の調査の結果、果樹カメムシ類によるカキの被害果率は前年並で、被害発生ほ場率は前年より高かった(図3)。

カキ被害果率 1.0% (前年 1.2%、前々年 0.3%)

*参考：平成25年 7.9%

被害果発生ほ場率 60.0% (前年 27.3%、前々年 16.7%)

*参考：平成25年 53.8%

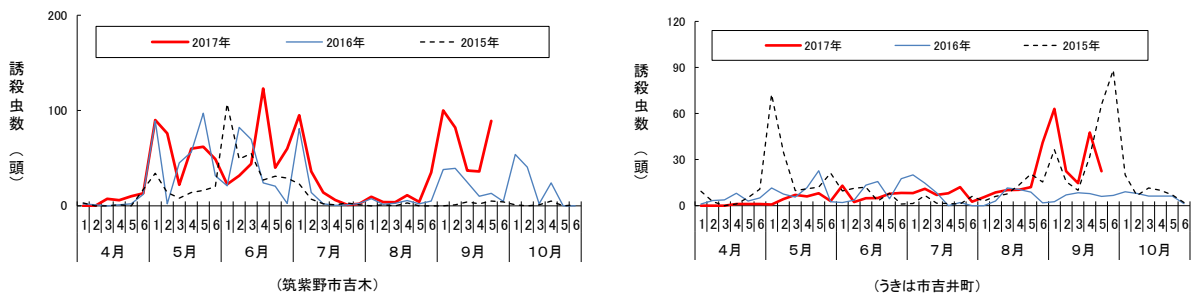


図1 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺虫数の推移

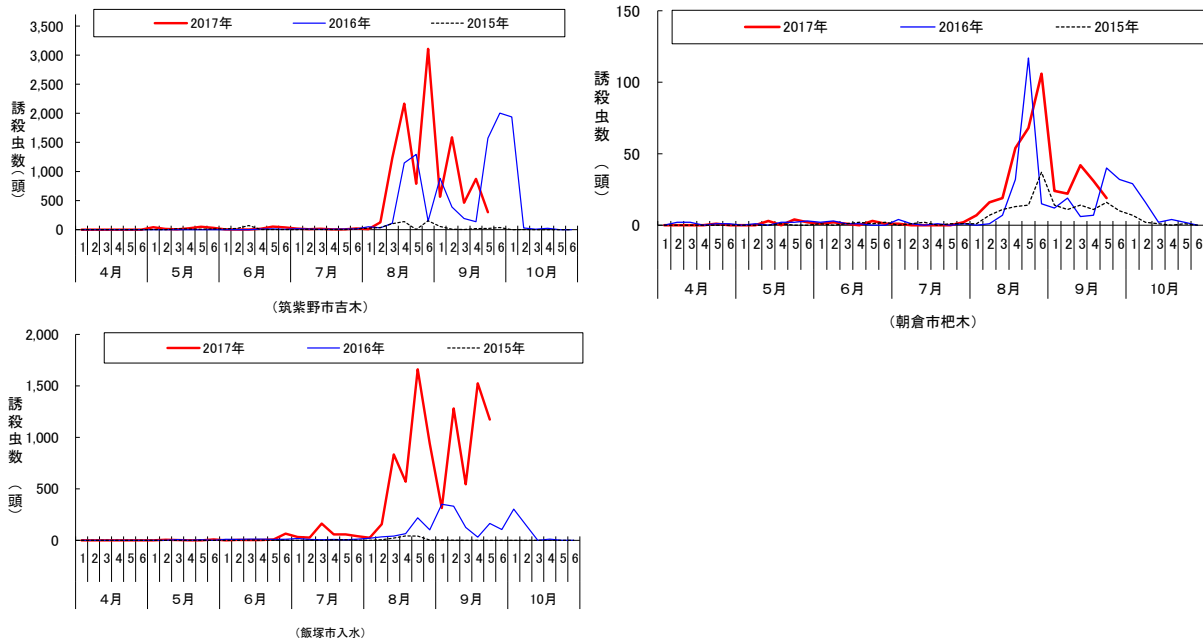


図2 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺虫数の推移

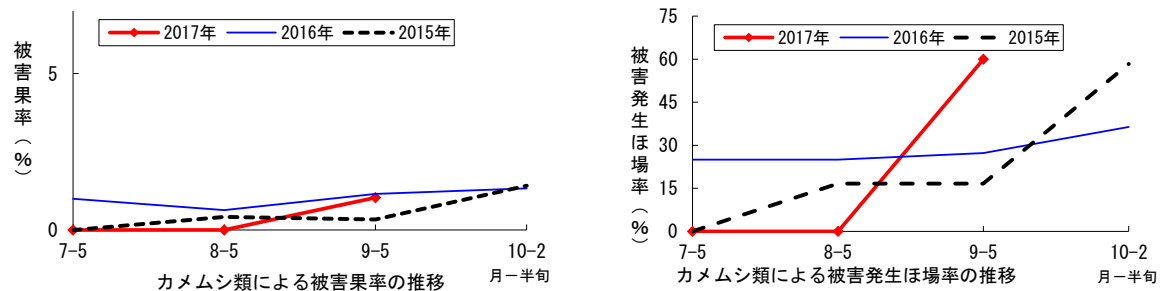


図3 果樹カメムシ類によるカキ果実の被害状況

4 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹カメムシ類の飛来状況は地域により異なる。また、同一園内でも被害発生状況は偏りがあるため、園内全体を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 果樹カメムシ類は夜行性であるが、夜温が低下すると昼間も移動し果実を吸汁加害するので、昼間の果樹園への飛来にも注意する。
- (3) 果樹カメムシ類は広範囲に移動するため、薬剤散布は広域一斉防除の効果が高い。
- (4) 薬剤防除の際は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守する。
- (5) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので、散布間隔に注意する。
- (6) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ病害虫の発生状況 (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/doukou/hassei.html>) を参照する。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>



最新の病害虫発生状況